



わが家のエンジェル

鈴木 夢叶ちゃん

(平成27年11月14日生・栄町)

家族が増えたらいいな、という夢を叶えてくれた我が家の第二子、夢叶です。大好きなお姉ちゃんが傍にいるだけでニコニコ笑顔。ずっと仲良し姉妹でいてほしい、とパパとママは願っています。



六月定例俳句会

幌延ほおずき俳句会

父の日の久遠響き叱り声 熊谷 千恵子
 父の日の父の使いし砥石かな 佐藤 光朗
 贈られしミシン重たし父の日は 富樫 とも子
 父の日や父より長寿畑に立つ 横山 貞雄
 誇りとも思う父の日父ありし 三浦 宮吉
 模擬刀を飾り父の日でいる 田中 徹男

秘境駅の里「ほろのべ」鉄道フォトコンテスト

カメラコース入選5作品のうちの一つは、鎌倉市 中川 宏司 様の作品「秘境駅の味わい方」が選ばれました。

【カメラコース 入選】



「秘境駅の味わい方：中川 宏司 様」

糠南駅の木造プラットホームに鎮座する男性の「秘境駅の味わい方」です。鳥のさえずり、風の音、自然の匂い。いろいろなものを感じ取っているのでしょうか…。秘境駅には、それぞれの味わい方、楽しみ方があるのですね！

男性が糠南駅の一部でもあるかのような見事な一体感です！

秘境駅：下沼駅

～今月の駅ノート～

今月の「駅ノート」は、駅舎内の素晴らしい装飾で有名な下沼駅です。



自然に帰る？下沼駅

1966年3月下旬。私は両親とこの「下沼駅」から新生活の地へと早朝の列車に乗った。以来50年、何度となくこの地を訪れ駅に立ち寄る。

当時は立派な木造駅舎と駅長を始め二人以上の駅員が居た。鉄道官舎もあり、数人の線路保全の方々や数人、数家族の方々に住んでおられた。

ゆるやかな駅前道の道を下ると湧水の持ち主だったお宅や他の方々の住まいが数軒並び、さらに進むと旧国道40号と交わる交差点、そこにはこの集落ただ一軒の雑貨店、日常生活に必要な物資は全てここで買えた。

ここは決して秘境駅では無かった！多くの人々を支える玄関口となっていた。今でもこの

場所、駅、空気、景色やすべての人々が私の人格を形づくった原点なのです。私を「何も無い」と言われる風景が心をいやしてくれます。

今、この地は人が多く去り、やがて明治時代、森を形成していた頃に戻っている気がします。どんな優れた英知を持った人類も自然の一部です。人間は自然に決して勝てないのです。人間が手を掛けた時、自然に不ず「不自然」になります。これからも自然に迷惑を掛けないように謙虚に生きていきたいと考えます。

元気なうちは何度も来ますよ。がんばれJR北海道！！

古代人 from SAPPORO city
 <<取材記者・プチ鉄Y>>

心に染み入る貴重なエピソードで、とても考えさせられる内容でした。

駅ノートには素晴らしい発見が散りばめられているものですね。

駅ノートには「湧水」や「名山台」というキーワードがたびたび書き込まれ、旅人にとっての名所が何かわかるような気がします。

ほろのべの夏祭り

■ジリジリと焼けるような日差しに、本格的な夏の訪れを感じるようになってきました。つついアイスを買ったままの季節、みなさまいかが過ごでしょうか。

■初めて幌延神社祭に参加したのですが、町民総出で「祭りを楽しむぞ！」な雰囲気になくわくわくばなしでした。そして神輿隊のみならず、暑い中お疲れさまでした。間近に控えている名林公園まつりも楽しみで仕方ありません！

総務財政課 総務グループ

●広報へのご意見、ご要望をお寄せください●

総務財政課総務グループ 電話 5-1111 / 告知端末機 5-8811



まちのとき

(平成28年6月 末日現在)	男	1,245(+3)
※()内は前月比	女	1,175(-1)
	計	2,420(+2)
	世帯数	1,276(+4)

平成28年8月 発行 / 天塩郡幌延町 企画・編集 / 総務財政課総務グループ 幌延町ホームページアドレス / http://www.town.horonobe.hokkaido.jp 印刷 / 株式会社須田製版